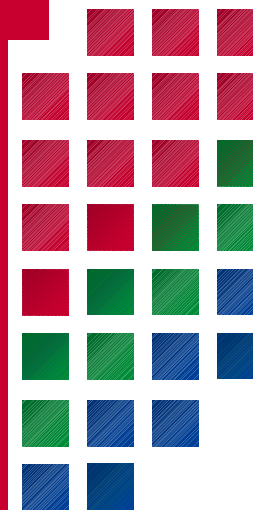


# 2020年3月期 第1四半期決算の概要

2019年 8月 9日



# 日本郵政グループ 決算の概要

## ■ 2020年3月期 第1四半期の経営成績

(億円)

	日本郵政グループ			
	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命	
経常収益	29,851	9,456	4,638	18,189
前年同期比	△ 1,740 (△ 5.5%)	△ 45 (△ 0.5%)	△ 66 (△ 1.4%)	△ 1,597 (△ 8.1%)
経常利益	2,022	376	1,057	560
前年同期比	△ 79 (△ 3.8%)	+ 125 (+ 49.8%)	△ 9 (△ 0.8%)	△ 192 (△ 25.6%)
四半期純利益	1,350	354	778	337
前年同期比	+ 115 (+ 9.3%)	+ 124 (+ 54.2%)	△ 5 (△ 0.6%)	△ 3 (△ 0.9%)

## ■ 2020年3月期 通期業績予想 (2019年5月公表)

経常利益	7,100	1,250	3,750	1,900
(1Q進捗率)	(28.5%)	(30.1%)	(28.1%)	(29.5%)
当期純利益	4,200	1,000	2,700	930
(1Q進捗率)	(32.2%)	(35.4%)	(28.8%)	(36.3%)

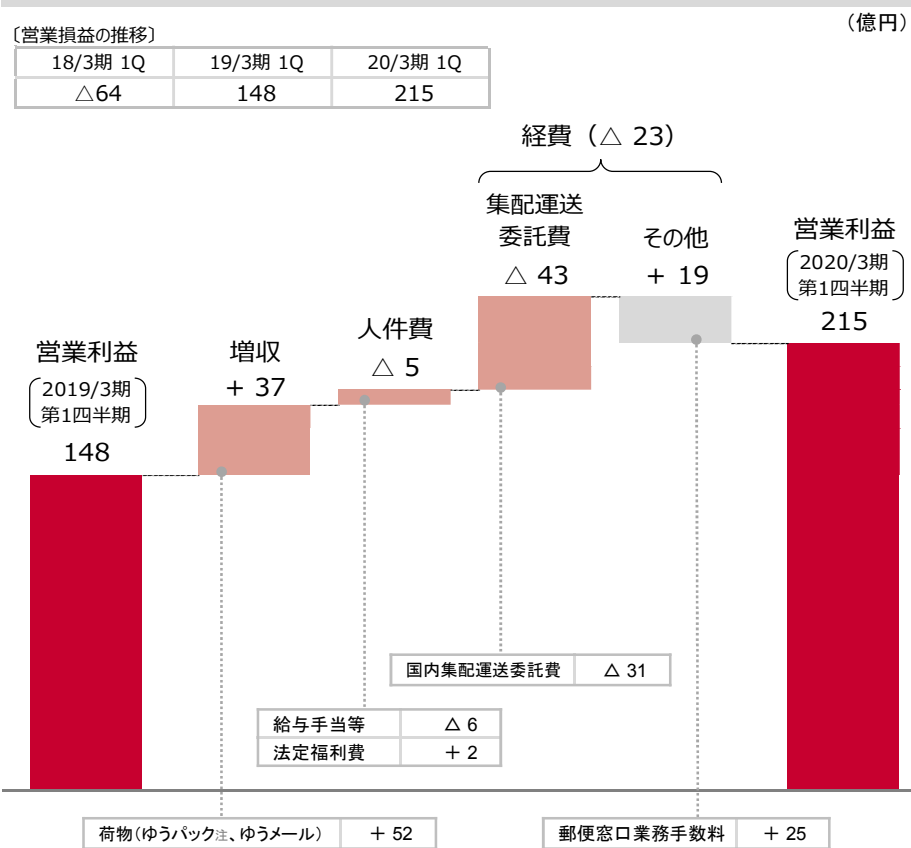
注1: 億円未満の決算数値は切捨て。また、日本郵政グループ数値と各社数値の合算値は、他の連結処理(持株会社・その他子会社の合算、グループ内取引消去等)があるため一致しない。

注2: 各社の数値は、各社を親会社とする連結決算ベース。また、「四半期純利益」及び「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。

# 郵便・物流事業 決算の概要

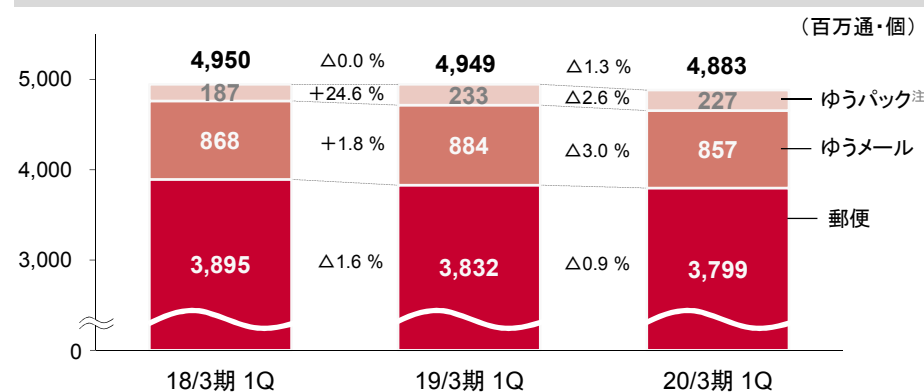
- 取扱数量は、ゆうパック注が2.6%減（うち、ゆうパケットは20.8%増）、ゆうメールが3.0%減、郵便物も0.9%減。
- 営業収益は、ゆうパケットの数量増や荷物の単価見直しなどにより、前年同期比37億円（0.8%）の微増。
- 営業費用を取扱数量に応じて抑制できたことにより、営業利益は前年同期比66億円（45.0%）の増益。

## 営業利益の増減分析(前年同期比)



注：「ゆうパック」には、ゆうパケットを含む。

## 取扱数量の推移



## 当第1四半期の経営成績

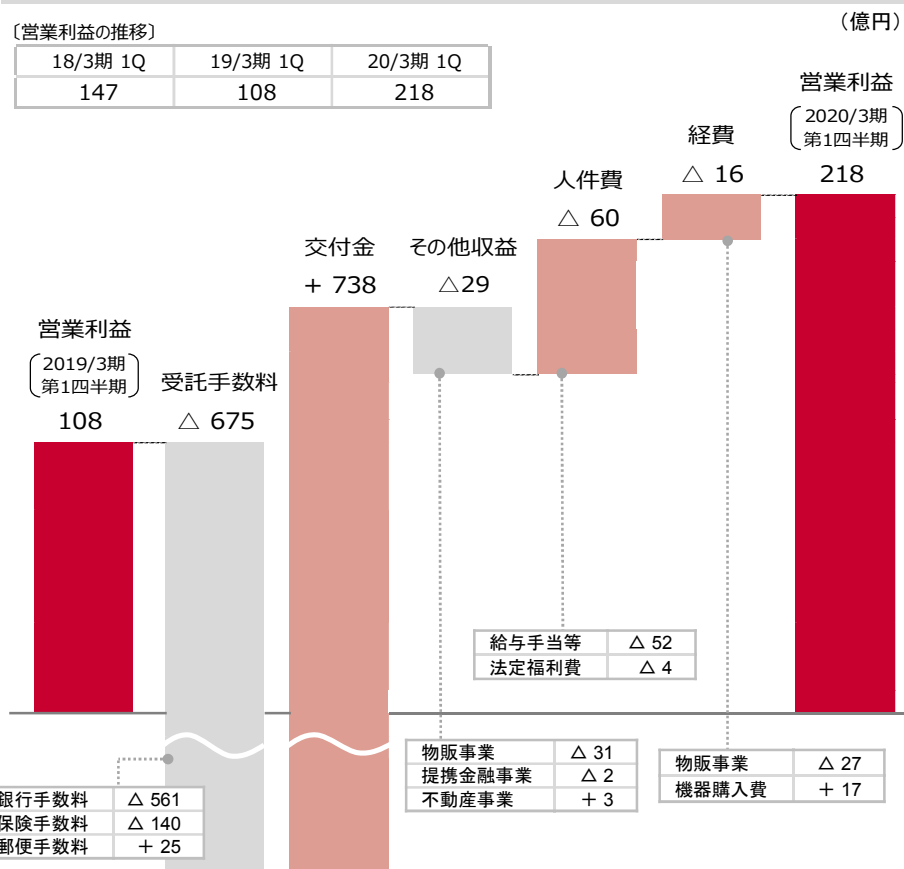
(億円)

	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
営業収益	5,015	4,977	+ 37
営業費用	4,800	4,829	△ 29
人件費	3,105	3,111	△ 5
経費	1,694	1,718	△ 23
営業利益	215	148	+ 66

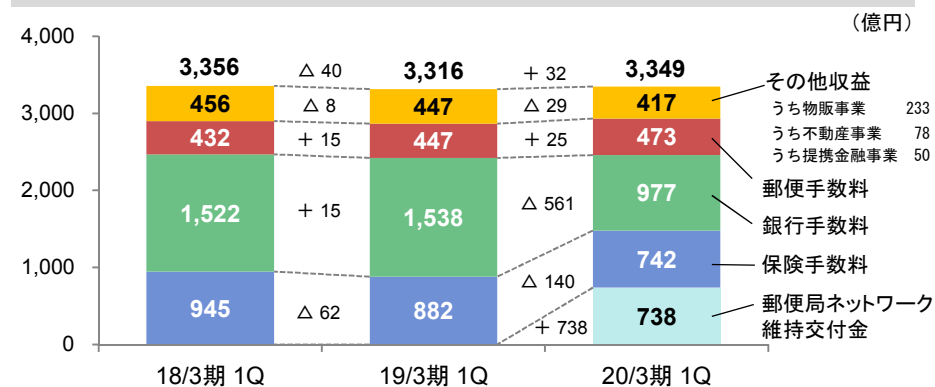
# 金融窓口事業 決算の概要

- 営業収益は、前年同期比32億円（1.0％）の微増。銀行・保険・郵便の受託手数料の合計は、前年同期比675億円（23.5％）の減収。郵便局ネットワーク維持交付金を加えた金額で比較すると62億円（2.2％）の増収。
- 人件費を中心に営業費用が減少したことにより、営業利益は前年同期比109億円（101.1％）の増益。

## 営業利益の増減分析(前年同期比)



## 収益構造の推移



## 当第1四半期の経営成績

(億円)

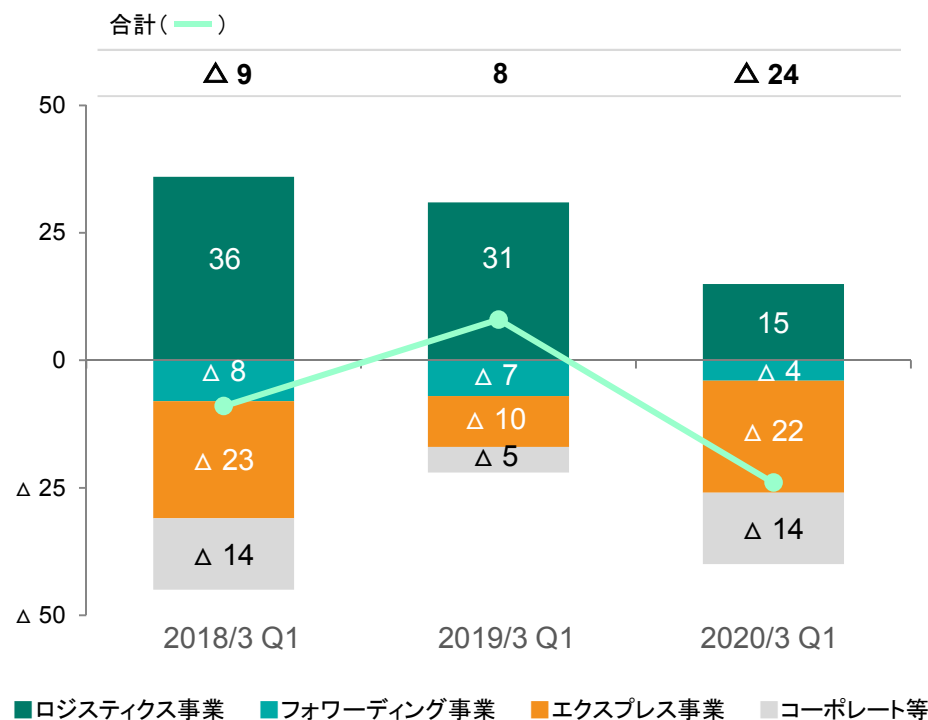
	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
営業収益	3,349	3,316	+ 32
営業費用	3,130	3,207	△ 76
人件費	2,242	2,303	△ 60
経費	888	904	△ 16
営業利益	218	108	+ 109

# 国際物流事業 決算の概要

- 営業収益は、ロジスティクス事業が増収基調を維持しているものの、中国経済の減速などにより伸びが鈍化し、前年同期比34百万豪ドル（1.7%）の微増（円ベースでは為替影響により5.3%減）。
- 人件費単価の上昇や一時的要因による経費増を含め、営業費用が収益の伸びを上回って増加したことにより、営業損益（EBIT）は24百万豪ドルの赤字を計上。

## 事業別の営業損益(EBIT)の推移

(百万豪ドル)



## 当第1四半期の経営成績

(百万豪ドル、下段括弧内は億円)

	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
営業収益	2,080 (1,601)	2,046 (1,690)	+ 34 (△ 89)
営業費用	2,105 (1,620)	2,038 (1,683)	+ 67 (△ 63)
人件費	683 (526)	649 (536)	+ 34 (△ 10)
経費	1,422 (1,094)	1,389 (1,147)	+ 33 (△ 53)
<b>営業損益 (EBIT)</b>	<b>△ 24 (△ 19)</b>	<b>8 (6)</b>	<b>△ 33 (△ 25)</b>

注1：営業収益、営業費用及び営業損益(EBIT)は、トール社、JPトールロジスティクス社及びトールエクスプレスジャパン社の数値の合計額をそれぞれ記載。

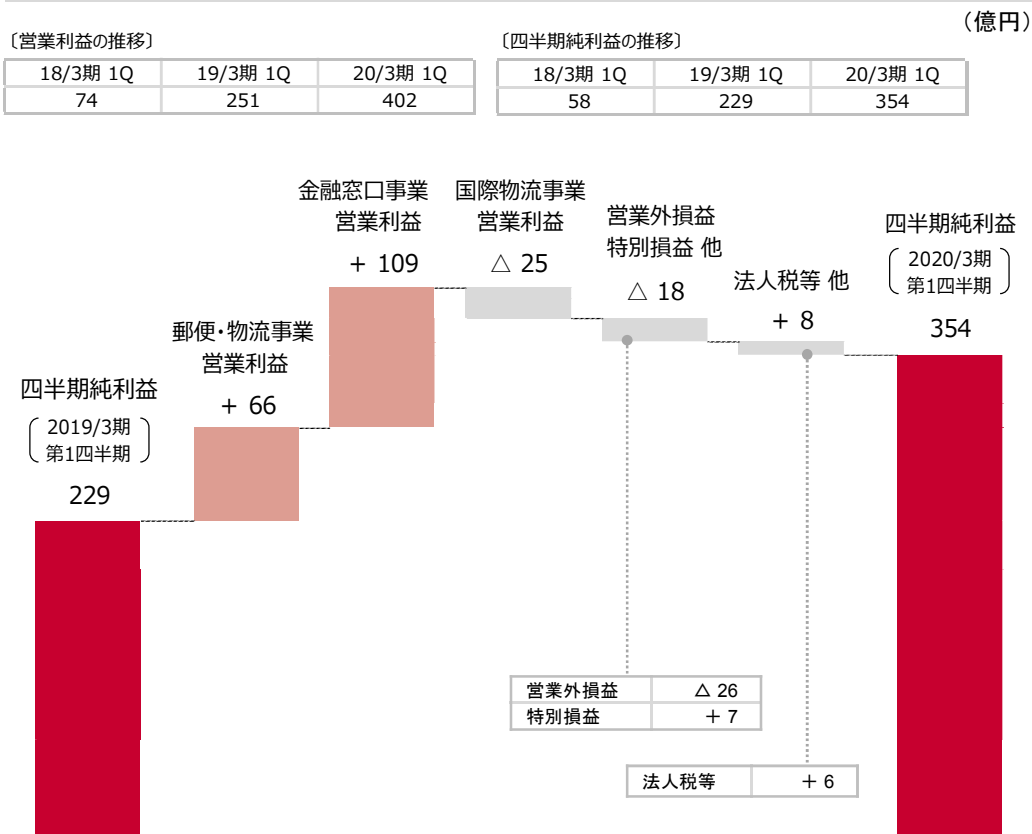
注2：2020/3 Q1からIFRS第16号(リース)を適用。グラフ及び表の2020/3 Q1数値はIFRS第16号(リース)適用後の数値を記載。

注3：表の下段括弧内は期中平均レート(2020/3期第1四半期76.94円/豪ドル、2019/3期第1四半期 82.59円/豪ドル)での円換算額をそれぞれ記載。

# 日本郵便 決算の概要（まとめ）

- 営業収益は前年同期比41億円（0.4%）の微減（国際物流事業収益の為替影響を除けば実質微増）。
- 営業利益は前年同期比151億円（60.3%）増の402億円、経常利益は125億円（49.8%）増の376億円、四半期純利益は124億円（54.2%）増の354億円。

## 四半期純利益の増減分析(前年同期比)



## 当第1四半期の経営成績

(億円)

	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
営業収益	9,443	9,484	Δ 41
営業費用	9,040	9,233	Δ 192
人件費	5,874	5,950	Δ 76
経費	3,166	3,283	Δ 116
営業利益	402	251	+ 151
経常利益	376	251	+ 125
特別損益	4	Δ 2	+ 7
税引前四半期純利益	381	248	+ 132
四半期純利益	354	229	+ 124

# ゆうちょ銀行（単体）決算の概要

## 当第1四半期の経営成績

(億円、%)

	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
業務粗利益	3,644	3,700	△ 55
資金利益	2,566	2,766	△ 199
役務取引等利益	331	267	+ 63
その他業務利益	746	666	+ 80
経費 <sup>注1</sup>	2,630	2,634	△ 3
一般貸倒引当金繰入額	0	—	+ 0
業務純益	1,013	1,066	△ 52
臨時損益	43	△ 0	+ 43
経常利益	1,057	1,066	△ 8
四半期純利益	777	782	△ 4

(参考: 連結決算情報)

経常収益	4,638	4,705	△ 66
経常利益	1,057	1,066	△ 9
四半期純利益 <sup>注2</sup>	778	783	△ 5

	2020/3期 第1四半期	2019/3期	増減
貯金残高 <sup>注3</sup>	1,831,338	1,809,991	+ 21,347
単体自己資本比率 (国内基準)	15.57	15.78	△ 0.21

## 概要

- 当第1四半期の業務粗利益は、前年同期比55億円減少の3,644億円。  
このうち、資金利益は、国債利息の減少を主因に、前年同期比199億円の減少。  
一方、役務取引等利益は、前年同期比63億円の増加。  
その他業務利益は、外国為替売買損益の増加等により、前年同期比80億円の増加。
- 経費は、前年同期比3億円減少の2,630億円。
- 金利が低位で推移するなど厳しい経営環境下、業務純益は前年同期比52億円減少の1,013億円。
- 経常利益は前年同期比8億円減少の1,057億円。
- 四半期純利益は777億円、前年同期比4億円の減益。
- 連結四半期純利益は778億円。  
通期業績予想に対して28.8%の進捗率。
- 当四半期末の貯金残高は、183兆1,338億円。
- 単体自己資本比率(国内基準)は、15.57%。

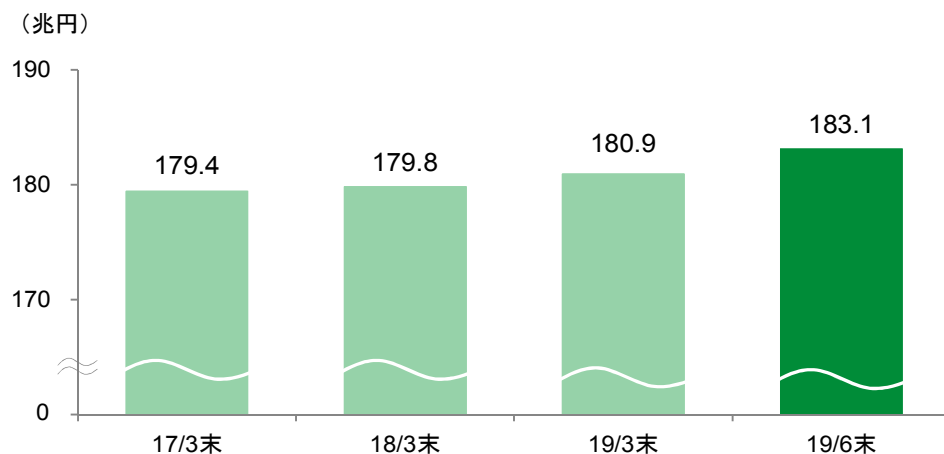
注1: 臨時処理分を除く。

注2: 親会社株主に帰属する四半期純利益の数値を記載。

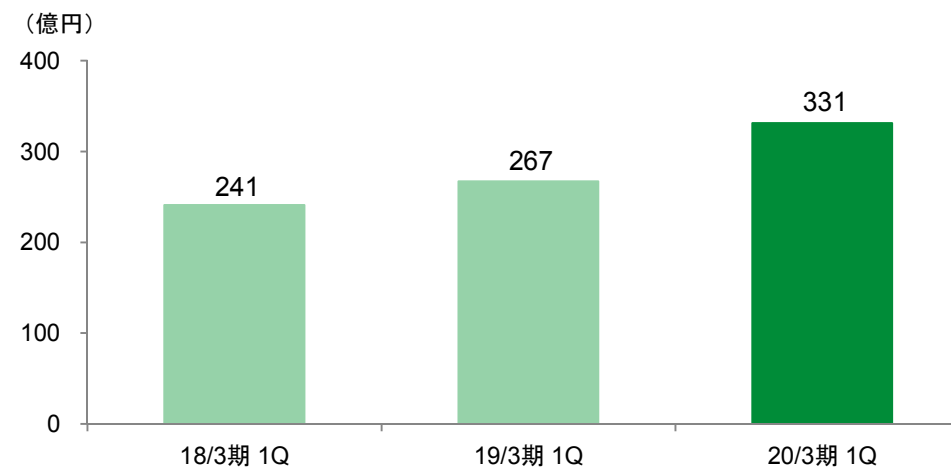
注3: 未払利子を除く。

# ゆうちょ銀行（単体） 営業の状況

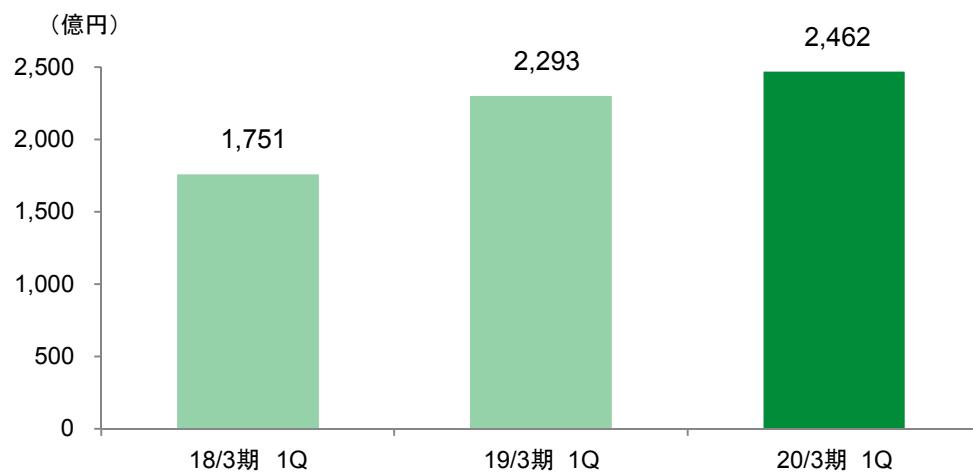
## 貯金残高



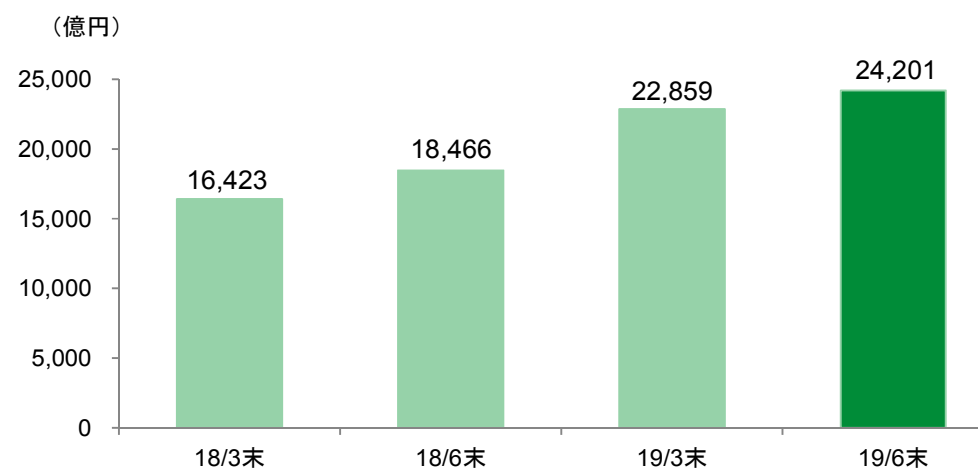
## 役務取引等利益



## 投資信託（販売額）



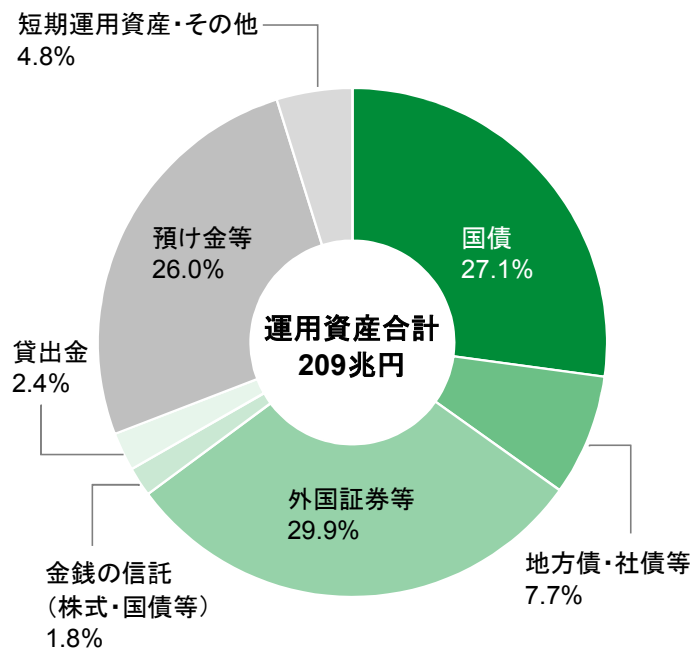
## 投資信託（純資産残高）



注：表示単位未満は切捨て。



# ゆうちょ銀行（単体） 資産運用の状況



(億円)

	2020/3期 第1四半期	構成比 (%)	2019/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	1,356,621	64.8	1,371,352	66.5	△ 14,731
国債	568,032	27.1	583,565	28.3	△ 15,533
地方債・社債等 <sup>注1</sup>	161,181	7.7	162,791	7.9	△ 1,610
外国証券等	627,408	29.9	624,995	30.3	+ 2,412
うち外国債券	215,832	10.3	220,355	10.6	△ 4,523
うち投資信託 <sup>注2</sup>	411,277	19.6	404,339	19.6	+ 6,938
金銭の信託 (株式・国債等)	38,996	1.8	39,907	1.9	△ 911
うち国内株式	20,609	0.9	21,417	1.0	△ 807
貸出金	50,932	2.4	52,974	2.5	△ 2,041
預け金等 <sup>注3</sup>	544,776	26.0	506,742	24.6	+ 38,034
短期運用資産・ その他 <sup>注4</sup>	100,528	4.8	88,775	4.3	+ 11,753
運用資産合計	2,091,855	100.0	2,059,752	100.0	+ 32,103

注1: 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。  
 注2: 投資信託の投資対象は主として外国債券。  
 注3: 「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。  
 注4: 「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先勘定等。

## 当第1四半期の経営成績

(億円、%)

	2020/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減
経常収益	18,189	19,786	△ 1,597
経常費用	17,629	19,034	△ 1,404
経常利益	560	752	△ 192
四半期純利益	337	340	△ 3

(参考: 単体決算情報)

基礎利益	908	988	△ 79
キャピタル損益	△ 316	△ 156	△ 160
臨時損益	△ 33	△ 81	+ 48
経常利益	558	750	△ 191

個人保険 新契約 年換算保険料	935	946	△ 10
--------------------	-----	-----	------

	2020/3期 第1四半期	2019/3期	増減
個人保険 保有契約 年換算保険料 <sup>注1</sup>	46,471	46,771	△ 300

連結ソルベンシー・ マージン比率	1,198.5	1,189.8	+ 8.7
---------------------	---------	---------	-------

連結実質純資産額	139,842	135,357	+ 4,484
----------	---------	---------	---------

注1: 保有契約には簡易生命保険の保険契約を含む。簡易生命保険の保険契約は、独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険の保険契約をいう。

注2: 金額は億円未満を切捨て。

注3: 第三分野の新契約及び保有契約年換算保険料の数値は、「P10「保険契約の状況」を参照。

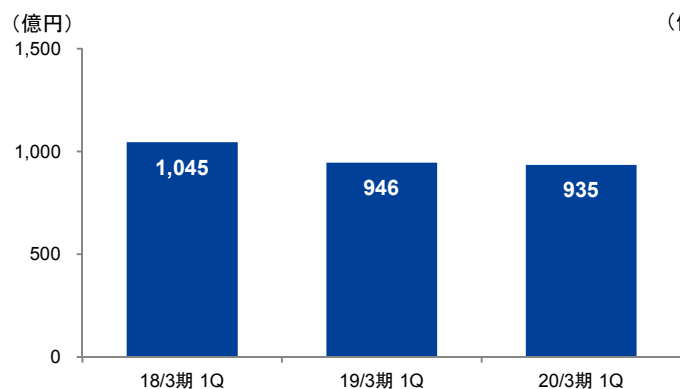
## 概要

- 経常利益は、キャピタル損失の増加等により、前年同期比192億円減の560億円。
- 四半期純利益は、価格変動準備金の戻し入れを行ったほか、有配当契約の減少に伴う契約者配当準備金繰入額の減少等により、前年同期比3億円減の337億円。通期業績予想に対して36.3%の進捗率。
- 個人保険の新契約及び保有契約年換算保険料は、共に前年同期（前期末）比で減少。第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比で減少したものの、保有契約年換算保険料は、前期末比で増加。<sup>注1、注3</sup>
- 危険準備金及び価格変動準備金を合計した内部留保額は、2兆8,032億円。
- 健全性の指標である連結ソルベンシー・マージン比率は、1,198.5%、連結実質純資産額は、13兆9,842億円と引き続き高い健全性を維持。

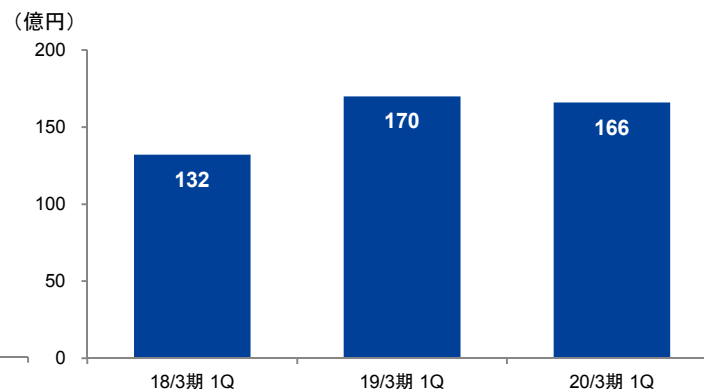
# かんぽ生命 保険契約の状況

## 新契約

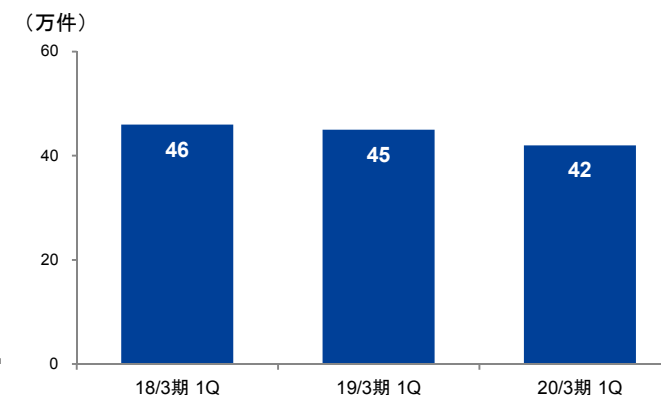
### 新契約年換算保険料（個人保険）



### 新契約年換算保険料（第三分野）

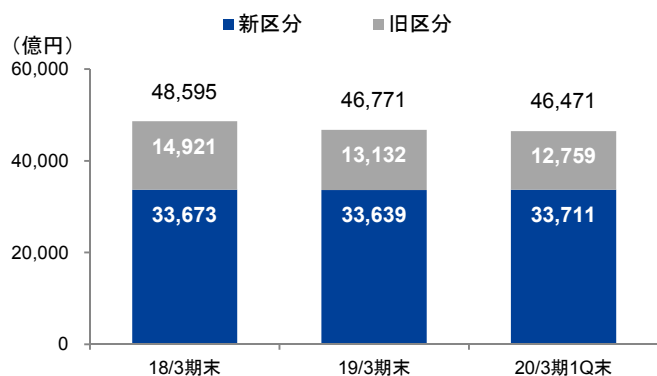


### 新契約件数（個人保険）

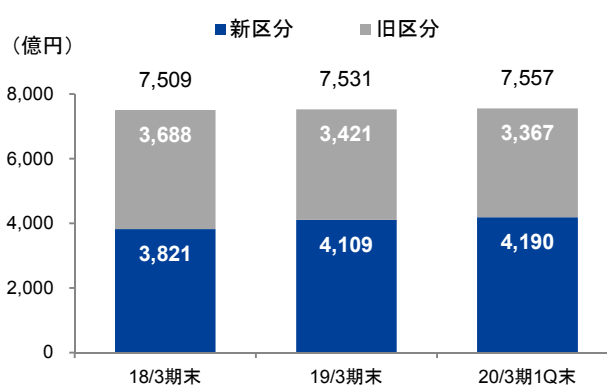


## 保有契約

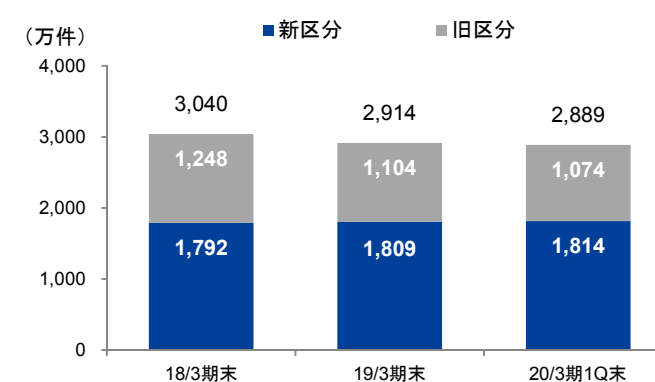
### 保有契約年換算保険料（個人保険）



### 保有契約年換算保険料（第三分野）



### 保有契約件数（個人保険）



注1: 年換算保険料は億円未満、契約件数は万件未満を切捨て。

注2: 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。

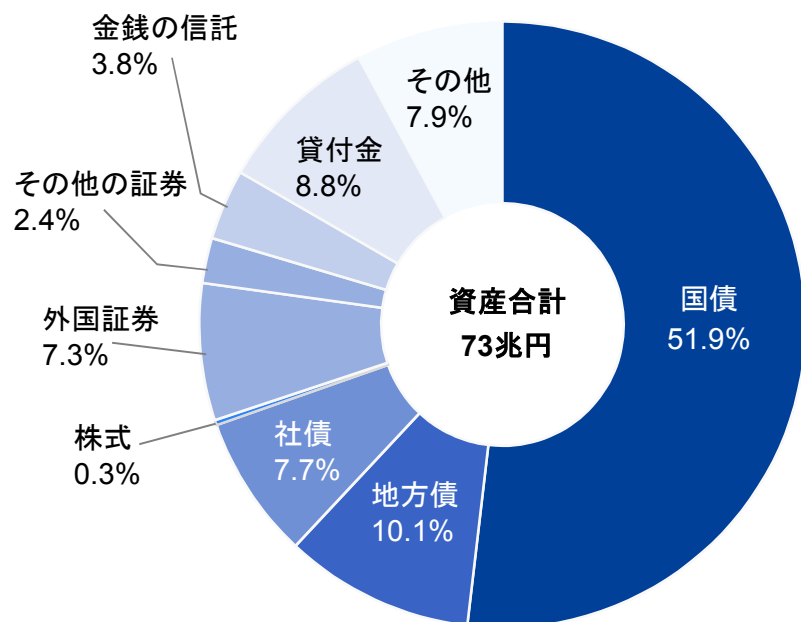
年換算保険料（個人保険）は個人保険に係る第三分野を含み、年換算保険料（第三分野）は個人保険と個人年金保険に係る第三分野の合計値。

注3: 「新区分」は、かんぽ生命保険が引受けた個人保険を示し、「旧区分」は、かんぽ生命保険が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す。

# かんぽ生命 資産運用の状況

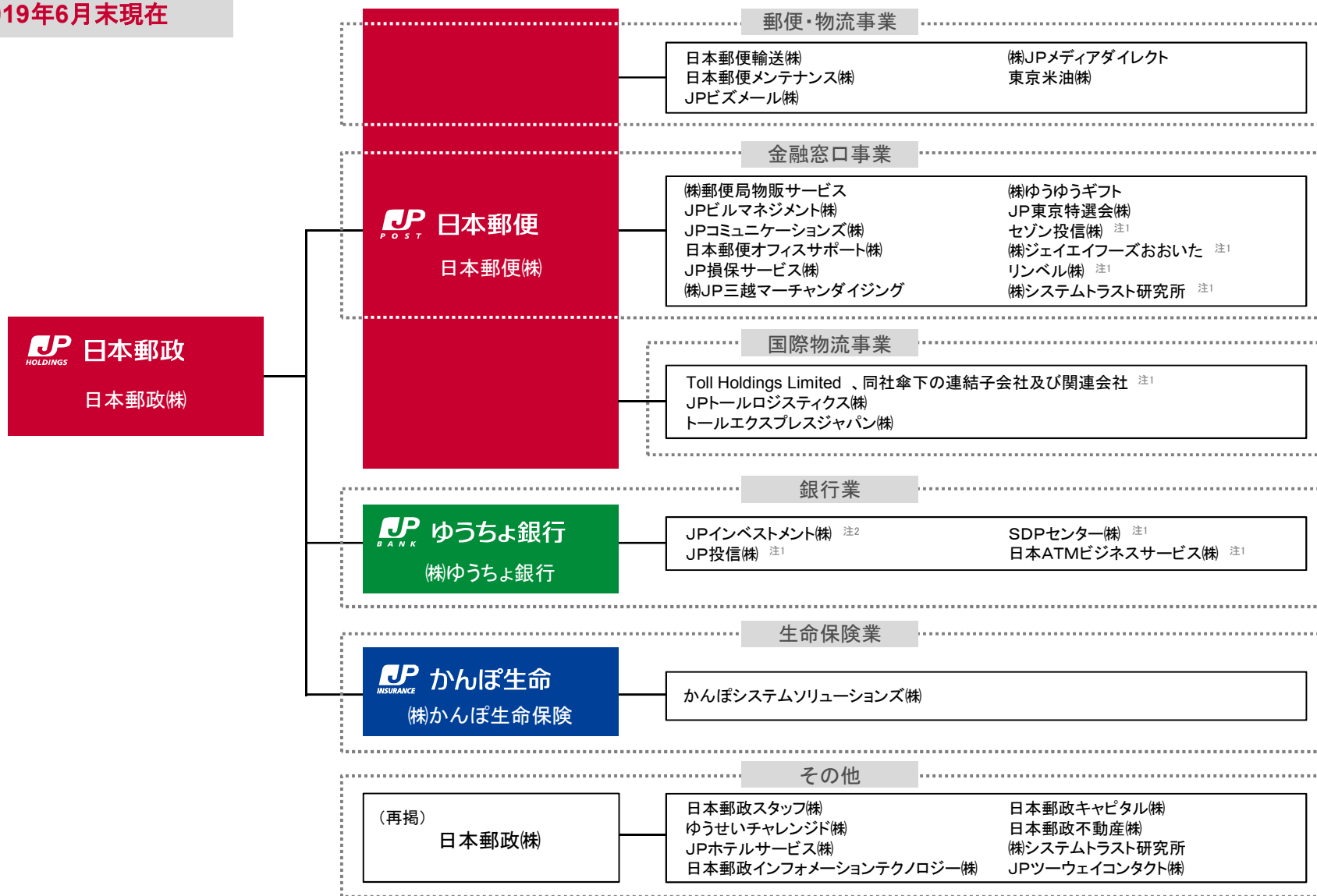
(億円)

	2020/3期 第1四半期	構成比 (%)	2019/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	584,705	79.6	584,515	79.1	+189
国債	380,951	51.9	380,414	51.5	+537
地方債	74,226	10.1	75,244	10.2	△ 1,017
社債	56,217	7.7	55,629	7.5	+ 587
株式	1,976	0.3	2,055	0.3	△ 79
外国証券	53,701	7.3	52,849	7.2	+ 852
その他の証券	17,632	2.4	18,323	2.5	△ 690
金銭の信託	27,772	3.8	27,875	3.8	△ 102
貸付金	64,284	8.8	67,860	9.2	△ 3,576
その他	57,795	7.9	58,798	8.0	△ 1,002
総資産	734,557	100.0	739,050	100.0	△ 4,492



# 〔参考1〕 グループ会社関係図

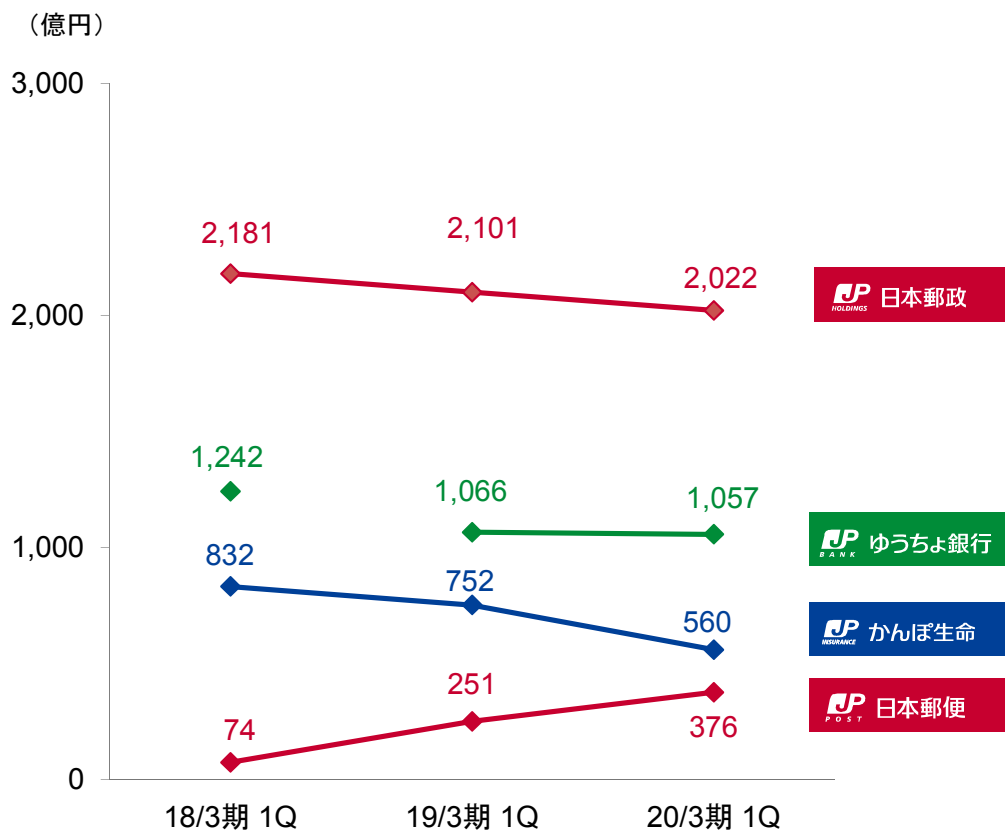
2019年6月末現在



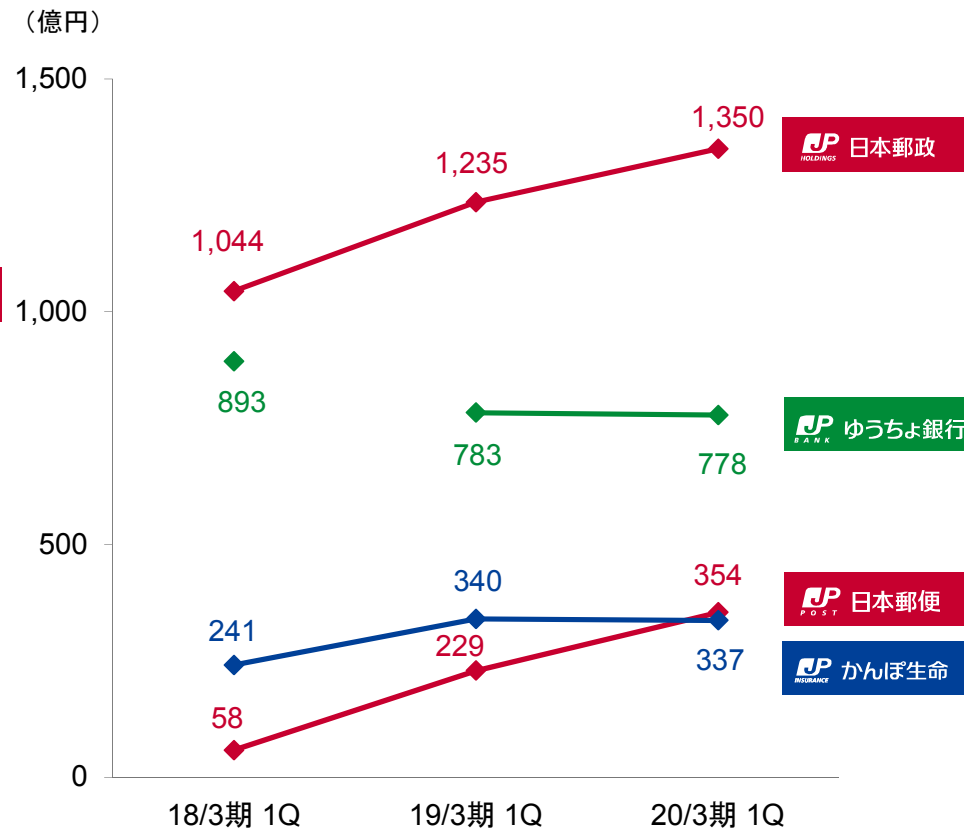
注1: 持分法適用関連会社 注2: 傘下の連結子会社含む

## 〔参考2〕 経常利益・四半期純利益の推移

### 経常利益の推移



### 四半期純利益の推移



※ ゆうちょ銀行の18/3期1Qは単体決算ベースの数値。その他は連結決算ベースの数値。

本資料に記載されている通期業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。